

森とともに生きる

私たちの暮らしを支える森林

森林には、水源の維持、国土の保全、土砂災害や地球温暖化の防止、癒しや健康増進などの私たちが生きるために大切な役割を担うさまざまな多面的機能があります。これからも私たちが健康で快適な生活を送るために、そのような森林の機能が将来にわたり維持・発揮されることが必要です。

今回は、市の森林の現状・課題と森林の持つ多面的機能を発揮するための取り組みを紹介します。

問合せ先 農林振興課農林政策グループ (☎84-5068)

森林の持つ主な8つの機能 多面的機能

森林は、次のような機能を持っており、私たちの生活に安定や豊かさをもたらしてくれます。

- 1 土砂災害防止・
土壌保全**
山が崩れるのを防ぐ
- 2 水源涵養**
水を貯え、きれいにする
- 3 生物多様性
保全**
さまざまな生き物のすみかになる
- 4 地球環境
保全**
地球温暖化を防ぐ
- 5 快適環境
形成**
空気をきれいにし、
生活環境を快適にする
- 6 保健・
レクリエーション**
レクリエーションの
場になる
- 7 文化**
文化・景観を
形づくる
- 8 物質生産**
木材やきのこの
生産の場になる

出典(イラスト):林野庁ホームページ

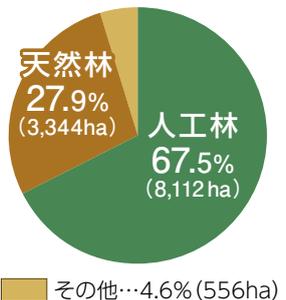
亀山市の森林

亀山市には、鈴鹿山脈や布引山地を源流とする鈴鹿川や加太川が流れ、豊かな森林と水源があり、それらの自然の恵みは私たちの日々の生活を支えています。

市では、先人たちが継承してきた鈴鹿川等源流域の自然環境と歴史的資源をかけがえのない財産として守り、次世代に継承していくため、「亀山市鈴鹿川等源流域の自然環境と歴史的資源を守り継ぐ条例」(平成31年3月施行)を制定しています。

市の総面積は約19,104ha(191km²)で、森林面積は12,012haとなっており、全体の約63%を占めています。そのうち、スギ、ヒノキなどの人工林面積は8,112haで、全体の約67%となっています。スギ、ヒノキなどの伐採時期は35~40年とされている中で、本市では生育年数51年以上の人工林が約90%を占めています。森林の多面的機能を失わないためにも、間伐などの手入れや整備など適切な管理が必要です。

亀山市における人工林と天然林の割合



直面する課題

市の森林は、全森林面積のうち97%が民有林で、5ha未満の森林所有者が50%を占めています。しかし近年は、森林所有者の高齢化、所有者や境界が不明な森林の増加などが課題となっており、間伐や整備など森林の適切な管理が難しい状況にあります。

森林の適切な管理が行われず、多面的機能が失われると、土砂災害のリスクが高まるほか、二酸化炭素の吸収量が減少し、地球温暖化防止の機能が低下するなど、私たちの生活に影響を及ぼします。





持続可能な森林づくりのために

市では、森林環境や市民の暮らしを守るため、森林所有者や林業を営む事業者と連携し、適正な森林管理を進めています。また、皆さんに森林や林業の大切さなどについて理解を深めてもらう活動や、市産材の利用、林業を支える人づくりに取り組んでいます。

適切な森林管理

市では、森林資源の適切な管理を図るため、所有者自身で管理することが難しい森林について、市が管理に取り組む森林経営管理制度を推進し、意向調査の結果に基づき、境界の明確化、森林の間伐などを行っています。



森を育む人づくり

ネイチャークラフト体験や木こり体験などのイベント開催のほか、市内の園児や小・中学生を対象に森林環境教育や木工工作を実施し、森林の働きや木材について学びふれあう機会を提供しています。



◎鈴鹿川等源流の森林づくり協議会の活動

鈴鹿川等源流域の3地区(野登・坂下・加太)において、森林環境保全の重要性を伝える協議会の活動を支援しています。

市では、これらの事業の実施に「森林環境譲与税」や「みえ森と緑の県民税」などの財源を活用し、森林の持つ多面的機能の維持・発揮に取り組んでいます。その他の取り組みなど詳しくは、市ホームページをご覧ください。



森林を支える人

市の森林環境を維持し、林業を支えている人にお話を伺いました。

■森林の多面的機能を守るために

亀山市では、所有境界が不明な森林や所有者が分からない森林が増えており、適切な森林管理が進まないという事態が発生しています。このため、手入れ不足の森林が増加し、土砂災害の防止や地球温暖化防止などの森林の多面的機能の維持・増進にも支障が生じてきています。

森林は、さまざまな場面で人々の暮らしを支えています。森林の持つ機能を維持するためには、適切な管理や手入れをしていかなければなりません。また、木を育て、伐って、使うという循環も大切です。

当森林組合では、森林の持つ多面的機能が十分に発揮できるよう、間伐等の森林整備を積極的に推進し、その目的達成のために、森林調査などを市と連携して実施しています。

■豊かな森林を次代へ残したい

今後もこの豊かな森林を維持していくために、子どもたちへの森林環境教育は重要だと思います。森林の持つ多面的機能や木の良さを子どものときから学ぶことは、将来の森林の活性化につながります。少しでも多くの人に森林について関心を持っていただくために、今後も木工教室や体験学習などの活動を市と共に行い、実際に木に触れ、親しむことを通じて未来を担う子どもたちに森林保全の重要性を伝え、亀山市が先人から受け継いできた豊かな森林を次世代に残していきたいと思っています。



鈴鹿森林組合
鵜飼 隆之さん

